

小学校へレッツゴー！顕微鏡でカビ見られるかな！？(4・5歳児)

2025.7.3

学校薬剤師の岡本先生にカビは顕微鏡で見ないと正確には分からないことを聞き、実験できるところを考え、「小学校の理科室！」とこれまでの経験の中で導きだしました。小学校に顕微鏡の使い方を教えてもらうべく、校長先生に電話をし、許可を取り、ワクワクしながら向かった当日です。



当日、おうちから試したいものをこんなにたくさんもってきてくれました。明日からこれらも、カビができるか実験していくようです。

(上段) アサガオの葉っぱや草、苔
(中段) 塩、ココア、人参、キャベツ、りんご、砂糖、さくらんぼの皮
(下段) 病気になった葉、人参、まっぼっくり、炭、竹、トマト、キャベツ、(その他) きのこのこま菌

教頭先生と初めての会う4歳児



理科室に入るのも初めて！
重たい椅子も頑張って運んだよ！



(子ども) 塩は、なんで黒っぽくなったの？

(校長先生) ごつごつしてるでしょ
もっと薄いと光が通るんだけど、影になってしまったんよ。



これがね、きのこの菌糸だね。こうやってつながっているんだよ。



これが顕微鏡です。こうやって見るよ。

うわっ！
すごい！！

みんなが一番見たい「梅の白いもの」をまず見ることにしました。堀部校長先生の顕微鏡を覗き、驚きの声に子ども達のワクワクが高まります。

くろいのと、きいろみたい
みどりで、もじゃもじゃ
してるー！



森みたい！

その形のまま拡大できる実体顕微鏡も用意していただきました。



休み時間になると、様子を見に小学生も集まってきました。

何してるん？



カビみてるねん

顕微鏡でいろいろみた後、質問タイムです。「なんでぽつぽついたらカビが生えるの？」「なんで梅は孢子ばかりなの？」最初の頃とだんだん子ども達の問いも変わってきています。世界が広がってきている証ですね！そして、知れたかった梅ですが、カビだということが確定しました。